

ふれあい

No.21

発行日 平成28年(2016年)7月5日
発行人 社会福祉法人長野県社会福祉事業団
長野県松本あさひ学園
所長 岡田 菊夫
〒390-0802
松本市旭2-11-25
TEL: 0263-88-3737
FAX: 0263-34-5066
E-mail: asahigaku@bf.wakwak.com



こころあらたに



所長 岡田 菊夫

新年度を迎えて3ヶ月が経とうとしています。

今年度4月から松本あさひ学園所長として勤めております岡田と申します。松本あさひ学園での勤めは初めてとなりますが、前身の諏訪湖健康学園を含めると3回目となります。

1回目は今から30年以上も前で、就職して3年目のときでした。2回目は今から7年前、ちょうど諏訪から松本への移行の節目のころでした。このときは、諏訪湖健康学園が移転するということを知り、遠く県外から、かつて担当した子どもたちが懐かしがって、諏訪湖を訪れてくれました。すっかりおじさんとおばさんになっていて、思い出話に花が咲きました。

今回も、着任して何人かの子どもたちが、成長した姿を見せてくれ、近況を話していってくれました。そんな彼らの顔を見て、「また、学園での生活が始まるんだなあ。」と、こころをあらたにしたところです。

さて、50年以上にわたって使われてきた「情緒障害児短期治療施設」という名称は、先の児童福祉法改正の中で、来年4月からは「児童心理治療施設」と名称を変更することとなりました。

私が最初に勤務したころは、全国に11ヶ所だったこの治療施設は、今後数年で50ヶ所にまで増設されます。創設当初の時代のニーズは大きく変化し、また対象となる児童の年齢も拡大され、「数ヶ月の短期治療」といった概念は実態に合わなくなっていることは確かです。

それでも、私個人としては、特別な治療環境での生活はできる限り短期間とし、地域の生活へと移行してほしいと願っています。そのためのアフターケアに今後力を注いでいける体制を整えつつあります。

今後とも皆様のご理解とご支援をいただければ幸いです。



松本あさひ学園の紹介

～各ユニットの紹介～

松本あさひ学園の子どもたちは、男子ユニット、女子ユニット、ホームユニット（けやき）の3つに分かれて生活をしています。今回は、各ユニットの紹介をしたいと思います！



男子ユニット

男子ユニットは小学生 8 名、中学生 3 名で生活しています。安心安全が守れる生活を掲げ、「暴言、暴力は絶対にしてはいけない」をルールとしています。週に 1 度、1 週間の振り返りと今後 1 週間の目標を、職員と児童と一緒に話し合います。これを毎週行うことで児童も意識し、自分達で決めたルールや目標に向かって生活します。

また、「カードゲーム大会」「ミニ四駆大会」「焼肉大会」等、1 年間を通して行っています。大会後は表彰シトロフィーを渡します。みんな一生懸命で、負けて悔し涙を流す児童もいます。そういった感情一つひとつを表現させることも一つの支援だと思い実践しています。今後も、児童の感情が見出せるような支援を実現していけたらと考えています。



女子ユニット

女子ユニットには現在、小学校 3 年生から中学校 3 年生までが生活しています。小学生 4 名、中学生 4 名の 8 名が、自分の課題と向き合って、少しずつ成長しています。

女子ユニットは「愛着の形成」に重点を置いた支援を行っています。例えば、気付いたことを先回りして職員がやるのではなく、気付かせてあげたり、相談してくれるのを待ったりして、一緒に取り組むことを大事にしています。また、入所中の生活と退所後の生活を繋いでいくために、誕生日にあわせて担当と一緒に 1 年間を振り返りながらアルバムを作っています。

子ども達のがびのびと生活できる場所を目指して日々取り組んでいます。



ホームユニット（けやき）

今年度のけやきホームは、小学生 3 名、中学生 2 名の 5 名でスタート。久しぶりに、低学年の男の子から中学生のお姉さんまで、少人数ながらも個性あふれるメンバーが揃いました。「家に帰る」という目標を持ち、家庭的な環境の中で一人ひとりが課題を意識して生活できることが特徴です。外遊びから子どもたちが元気に帰ってきたときに夕食を作りながら「手洗いうがいしておいで」「はい」のやりとり。「手伝おうか?」「僕も手伝うー」と自然な気遣い。アルバイトの学生さんとカードゲームに興じる姿。時にはケンカをすることも、ピリッとした空気が流れることもあります。小集団だからこそ感じられる、人と人とのふれあいを大切にしていきたいです。



よろしくお願いします



この度、縁あって松本あさひ学園にお世話になる事になりました、相野田（あいのた）と申します。

3月までは駒ヶ根市の西駒郷で勤務していました。これまでに高齢者と知的障がい者福祉には携わってきましたが児童福祉は初めての上に、岩崎前係長の後任という事で大きなプレッシャーを感じています…。

見た目はプロレスラーですが、気軽に声を掛けて頂けると嬉し

けやきU係長 相野田 智昭さん

今年度、あさひ学園に着任にしました、三村崇仁と申します。前年度まで工学部修士課程で勉強をしておりました。異分野出身の僕を優しく受け入れてくださり、職場の方々には本当に感謝しております。日々勉強することばかりでやりがいがあり、とても燃えています！ご迷惑をおかけしますが、今後ともよろしくお願いいたします。



男子U支援員 三村 崇仁さん



西駒郷より異動し、今年度よりあさひ学園でお世話になります。丸田かおりと申します。

昨年度までは駒ヶ根市の西駒郷で、障がいのある方の生活支援をしておりました。そこでも多くの方の笑顔と出会いましたが、あさひ学園でも多くの子どもたちと笑顔で過ごせたらと思います。体力勝負、子ども達に置いていかれないように頑張りたいと思います。

男子U支援員 丸田 かおりさん

4月よりあさひ学園に赴任しました和田麻奈美と申します。昨年度までは駒ヶ根市の西駒郷で働いていました。まだまだ不慣れな部分も多いですが、試行錯誤しながらも、子どもたちの成長をサポートしていきたいと思ひます。そして笑顔を大切に頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



女子U支援員 和田 麻奈美さん



今年度より生活支援員として配属となりました。若生(わかお)千春と申します。

3月まで保育を学んでいましたが、子ども達と過ごす中で日々新しい学びを感じています。支援員・社会人としても1年生で経験不足な面も多々ありますが、子どもとの関わりを大切に、子ども達の輝かしい未来に繋がる支援を目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

女子U支援員 若生 千春さん

今迄、利益を上げる、効率良く生産する等、人間性を少し横に置くようにして働いてきた私には、児童福祉施設で働く事は少し戸惑い、また新たな何かを見つける希望でもありました。

何も変わらない子ども達の明るい笑顔は、子どものいない私にとって大変嬉しいプレゼントでもあり、仕事へのより良い推進力となりました。

3ヶ月を過ぎようとしている今、この子ども達のために私に何ができるかを問いつつ、少しでも安全で居心地の良い生活環境を作る一助になればと思い、働いています。宜しくお願いします。



庁務職員 草間 淳一郎さん

～今後の予定～

7月19～20日	臨海学習
7月27日	一学期終業式
7月28日	卓球大会(県大会)
7月28日～8月22日	夏休み



「編集後記」

松本あさひ学園も、無事に6年目を迎えることができました。

今年度も地域の行事にたくさん参加して、松本あさひ学園を地域にアピールしていきたいと思っています。

皆様方には、昨年度と変わらずご理解、ご支援をお願い申し上げます。

(ふれあい編集委員)